

2020 年度

《小規模多機能型居宅介護 サービス評価》

さくらまち

事業所自己評価・・・・・・・・・・(事-③④⑧)
総括表

令和3年3月31日
小規模多機能型居宅介護 さくらまち

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年12月22日(14:15~15:15)

3. 日常生活の支援

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	1	3	5	9

前回の改善計画
「つぶやき」が記入できる様式を置く。(毎月の担当職員が発表する)
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">記録用紙を用意していたが、継続できなかった。月ごとの発表は無かったが、気になるつぶやきは職員間で伝え合う事が出できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	6	3	0	9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1	8	0	0	9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	1	8	0	9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	7	1	0	9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	7	1	0	9

できている点
<ul style="list-style-type: none">朝礼や送迎での家族との連絡、職員会やチーム会などで共有した情報を元に、その時の利用者様に合わせた丁寧な対応ができた。

できていない点
<ul style="list-style-type: none">声にならないしぐさや表情を気にして、職員間で伝え合うことはできたが、言語化にすることが難しく記入できていない。

次回までの具体的な改善計画
<ul style="list-style-type: none">バイタル帳に記入欄を設け、日々気付いた事、つぶやき、しぐさなど記入していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年12月22日(14:15~15:15)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0	1	3	5	9

前回の改善計画	民生委員の交代があった地域があるので、独居の方については確認をしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・担当者は確認できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	5	4	0	9
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	7	2	0	9
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	2	7	0	9
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	1	4	4	9

できている点	・今まで繋がりのあった地域との関係を切ることなくお手伝いができている。(病院、サロン、買い物、床屋など)
--------	--

できていない点	・独居の方は良いが、家族と同居の方についてはお任せしている。(家族の力も借りている為)
---------	---

次回までの具体的な改善計画	・家族に困ったことはないか、これからも声をかけていく。
---------------	-----------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年12月22日 (14:15~15:15)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	5	2	2	9

前回の改善計画	法人で計画してくれた事業所内研修には、積極的に参加してもらうように声かけをする。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">・声かけは行うことができた。・職場外研修はコロナで中止が多かったが、職場内研修として入浴についてチーム検討を行った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	0	6	1	2	9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	3	3	3	9
③	地域連絡会に参加していますか	1	0	1	7	9
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	5	3	1	9

できている点	<ul style="list-style-type: none">・法人が研修に参加できる環境を整えてくれたので、参加できた。
--------	--

できていない点	<ul style="list-style-type: none">・地域連絡会には、計画作成担当者が参加している。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(<ul style="list-style-type: none">・今後も法人と相談していく。)
---------------	--

2020年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	特定非営利活動法人 おいなんよ	代表者	佐藤 敏子	法人・ 事業所 の特徴	地域の方が野菜や果物を届けて下さったり、学校帰りの子供たちの声が窓から聞こえてくる場所がさくらまちです。コロナ禍で大変な時期ではありますが、「まずはやってみよう！」と工夫をしながら、利用者様と共に考え、笑顔が絶えない場所になっています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 さくらまち	管理者	櫻井 弘子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	8人	人	3人	1人	人	人	人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	9項目の中から、・日常生活の支援・地域での暮らしの支援・質を上げるための取組みの3項目に特化して取り組みたい。	3項目に絞ったこともあり、職員も集中して取り組むことができました。	簡素化されていれ分かりやすかった。職員全員が目標を意識していると思いました。	残り6項目の中から、新たに3項目（5 多機能性のある柔軟な支援 6 連携・協働 7 運営）について取り組む。
B. 事業所のしつらえ・環境	利用者さんの車椅子をメンテナンスする。 座布団のクリーニング、衣替えをする。	尿臭のご指摘もありましたので、車椅子のメンテナンス、座布団のクリーニング、衣替えをすべて行いました。	消防訓練で、施設にお邪魔しましたが、臭い気になりませんでした。	襖・障子の張り替えを行い、気持ち良く過ごせる環境にする。
C. 事業所と地域のかかわり	さくらまちランチには職員が同席し、地域の方と顔見知りになる。地域の行事などの参加を継続・続行していく。	さくらまちランチの同席は継続して参加して地域の方との交流をすることができた。行事への参加はコロナで見合わせる事が多かった。	皆さん、顔を見たら挨拶して下さいます。地域の清掃は早朝からなのに、参加して下さりびっくりしました。	コロナ対策をしっかりと行いながらボランティアの方の行事や地域との交流を深めていきたい。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	介護保険以外の方でも、地域で困っている方の支援をする。(ランチなどで情報を収集する、飯田地域包括支援センターと連携をする)	地域のよろず相談として、これから介護保険を考えている方の相談にも対応してきました。今後も地域包括支援センターとも連携を深めていきたい	利用者様を地域の病院や買い物、散髪にお連れしていることを知っています。	今後も地域包括支援センターとも連携しながら、地域で困っている人のお手伝いをする。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進委員会で、事業所の取り組み、状況を報告する場を設ける。	コロナの影響で会議の場が少なかったが、感染症対策をしっかりと行いながら、報告することができた。	コロナで集まることが不安だったが対策しており安心した。小規模多機能のことが少し理解できました。	さくらまちの一年間の活動動画を作成して見てもらう。
F. 事業所の防災・災害対策	緊急時、備蓄品を地域の方に使ってもらおう。備蓄品確認担当を決め年1回確認する。消火、避難訓練を消防署署員から指導を受ける。	備蓄品の担当を決めて確認を行ったが、地域に周知できなかった。消防訓練、AED訓練を消防署の方を招いて実施した。	消防計画や備蓄品の場所を、地域の集まりで報告してはどうか？	地域の避難訓練に参加したり、防災計画や備蓄品があることを自治会館に集まる機会に報告する。

